

兵庫ものづくり支援センター但馬

開設記念イベントに150人

日東精工の材木社長が講演



講演する日東精工の材木社長(豊岡市九日市上町)

但馬地域の企業支援を目的に4月に設置された「兵庫ものづくり支援センター但馬」の開設記念イベントが4日、センターは但馬地

域のものづくり企業の技術支援を図るため県が設置。5軸制御マシンングセンターや樹脂積層型3Dプリンターなどの機器が利用できるほか、技術コーディネーターが企業からの技術相談などに応じている。6月までの2カ月間で20件の機器利用があったという。

センターの知名度を高めようと開いた記念イベントには、但馬地域の企業経営者や行政、金融機関などの関係者ら約150人が参加。センターの機能や機器利用の事例紹介などに続き、綾部市井倉町に本社を置くねじメーカー、日東精工(株)の材木正己社長が基調講演を行った。

同社は地域の産業振興と雇用創出の理念を掲げ1938年に創業し、現在も主要工場を綾部市に置きながらグローバルに事業を展開。綾部工業研修所の開設など地域の産業発展にも努めている。

顧客や従業員、協力会社など日東精工に関わるすべての人を幸せにする「絆経営」について紹介した材木社長は、経営の基本的な考え方として「会社の責任は社会貢献であり、そのために企業を存続させることが大切」「『経験に勝る能力はなし』。部下にはいろいろな経験をさせてほしい」などと持論を展開した。〔岡田〕